



富士見市議会だより

富士見市議会議員集合写真

- (三列目右から)
- 予算決算副委員長 小川 匠
 - 議会運営副委員長 加藤 清
 - 総務副委員長 川畑 勝弘
 - 建設環境委員 村元 寛
 - 総務委員 斉藤 隆浩
 - 総務委員 佐野 正幸
 - 文教福祉副委員長 上杉 考哉
- (二列目右から)
- 文教福祉委員 小泉 陽
 - 建設環境委員 伊勢田幸正
 - 建設環境副委員長 寺田 玲
 - 総務委員 津波 信子
 - 総務委員 加賀奈々恵
 - 文教福祉委員 根岸 操
 - 建設環境委員 吉原 孝好
- (前列右から)
- 建設環境委員長 深瀬 優子
 - 文教福祉委員長 勝山 祥
 - 副議長 田中 栄志
 - 議長 篠田 剛
 - 議会運営委員長 関野兼太郎
 - 総務委員長 今成 優太
 - 予算決算委員長 尾崎 孝好



新春のごあいさつ

市民の皆様におかれましては、謹んで新春のお祝いとお慶びを申し上げます。

また、旧年中は、富士見市議会の活動に対し、まして深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を危惧し、本市議会でも3月定例会で、市民の皆様には市政一般質問を中止し、市に対してコロナ対策に関する緊急質問を行いました。そして、毎年、常任委員会ごとに行ってきた意見交換会については、富士見高校生徒会の皆さんとオンラインによる意見交換を行いました。

また、災害発生時、各議員からの状況報告を議会でも集約し災害対策本部へ情報提供するための訓練もLINEを活用して行いました。

本年も二元代表制の一翼を担う議会として市民の皆様と共に市政発展のため取り組んでまいりたいと存じますので、より一層のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

議長 篠田 剛

がんばる富士見市の観光農園

苺の畑 ふじみ 桶田 邦宏さん (南畑新田)

Q イチゴ栽培に取り組んだ経緯

A 若いころから携わってきた酪農や稲作とは違う形での農業をしたいとの思いを持っていたところ、観光で訪れたイチゴ農園との出会いがきっかけとなり、始めました。

その後、研修を経て、平成23年にイチゴの生産販売を始めました。

Q 良かったこと

A お客さんからの声、反応を直接聞くことができるのが何より嬉しい。美味しかったと言ってもらえると仕事をしていく励みになります。

Q 苦労したこと

A 平成26年の大雪によるハウスの倒壊被害や平成元年の台風など、想定外の大変なこともありました。例年の収穫時期は12月から5月末ぐらいとなりますが、3月から苗づくりから始まり、定植期(9月ごろ)を経て、その後生育管理を行っていきます。近年の気候の変化により、栽培管理には細心の注意を払っています。

Q 今後の目標は

A 現在、埼玉県の新品種である「あまりん」をはじめ、「あきひめ」、「紅ほっぺ」の3品種を栽培していますが、これからも品質の向上と地元密着での安定供給を目指して頑張っていきたいと思っています。

Q 議会や市に対して期待すること

A 農業振興のためにも、富士見市の農産物を直接手にしてもらえ道の駅(直売所)ができれば良いと思います。



ふじみストロベリー 浦野 純司さん (勝瀬)

Q イチゴ栽培に取り組んだ経緯

A 20数年IT企業で働いていましたが、自営業をやろうと決めて退職しました。その後、埼玉・千葉・群馬の農業生産法人、農家さんと露地野菜作りに取り組んだ結果から、地元の富士見市で温室ハウス栽培をやりたいと考え、10年前から幸いにもイチゴ農園を始めることができました。たくさんの方々にお世話になり、大変感謝しています。

Q 良かったこと

A 自分で作って、自分で販売するので、作物の状態、お客様の評価等を日々直接受け取って、すぐに生かすことができます。

Q 苦労したこと

A イチゴは日々の手入れが必要な作物で、機械化、自動化が難しいため、約1万株のイチゴの管理を1株1株、人の手で毎日行っています。また、イチゴは病気や害虫に弱い植物なので、その管理も大変です。

Q 今後の目標は

A これからの1年は新型コロナウイルスによる社会状況の変化を確認し、どのような取組が必要かを考えて、成長していきたいです。

Q 議会や市に対して期待すること

A 日本は、色々な格差が広がっている気がしています。政治や行政の方々には引張っていただいて、出来るだけ、たくさんの人達が幸せになるように願っています。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



伊勢田 幸正(日本維新の会)



吉原 孝好(21・未来クラブ)



斉藤 隆浩(21・未来クラブ)



関野 兼太郎(21・未来クラブ)



佐野 正幸(21・未来クラブ)



津波 信子(公明党)



尾崎 孝好(21・未来クラブ)



①バス路線について

Q 9月末まで、ふじみ野駅から南与野駅間のバス路線が撤退し、大幅にバスが減便することになった。事前に市に相談・連絡はなかったのか。

A 運転手不足や利用者数が想定より少なかったことにより撤退したと聞いている。市に特に連絡はなかった。

Q 今後、朝霞市などのように事前に連絡がもらえ、対応できる関係を作るべき。

A 取り組んでいく。

Q びん沼自然公園へのバス路線増設はどう考えているか。

A バスの運転手不足などから困難と聞いている。公園管理の指定管理者によってバスを走らせることも考えられる。

②新型コロナ対応について

Q プレミアム付商品券の販売率は。

A 11月27日時点で44%。12月までの販売期間延長や売れ残り分の再販売を行う。

小川 匠(日本共産党)



①新型コロナウィルス感染症対策について

Q 埼玉県はこれまで非公表としていた新型コロナの診療ができる病院等を公表し、身近な医療機関で診療・検査ができるようにしているが、代替が地域の医療体制の現状は。

A 埼玉県は12月1日より「埼玉県指定診療・検査医療機関」を公表し発熱等の症状がある方の受診体制を整えている。入間東部地域では、12月4日時点で診療と検査を実施できる医療機関は11か所、診療を行った後で検査が必要な場合に検査機関へ紹介する医療機関は8か所が登録済み。

②西出張所・サンライトホール耐震強度不足に伴う影響は

Q 市は市役所西出張所とサンライトホールを今年度末に閉鎖することだが、代替場所を確保する考えは。

A 検討しているが、結論は出ていない。

①フレイル予防の推進について

Q 地域包括支援センターの介護予防講座を活用してフレイルチェックを行う考えは。

A 事業の効果を高めていく上でも大変有効な方法である。しっかりと事業計画の中に組み入れ、進めたい。

②農業の振興について

Q びん沼自然公園内に農産物の加工製造品やお土産品を販売するスペースを設置する考えは。

A センターハウス内や屋外等の一角を利用しての販売スペースの確保・販売は可能である。今後、協議・調整をしたい。

③地域要望について

Q 市道第5221号線の歩道へ点字ブロックを設置する考えは。

A 道路を利用する目の不自由な方の安全や利便性に配慮し、設置に向けた検討をしていきたい。

①コロナ禍における教育行政の推進について

Q ICT活用の課題は。

A 教員に活用能力の差もあり、各学校のICT推進リーダーを中心に、教職員研修を実施し改善をしていく。

②行政界にある勝瀬小学校区通学路の安全確保について

Q 市単独でなく近隣市と共同での安全管理が必要では。

A ふじみ野市と調整を図り、道路空間の安全対策を考える。

③シェアサイクルによる賑わいのまちづくりについて

Q 「ダイチャリ」の実施を。

A 気軽に市内を周遊するための手段とし有効と考える。

寺田 玲(日本共産党)



①介護保険事業について

Q 現在の保険料基準額は5144円、介護保険が始まった当初の2627円と比較すると負担が重い。保険料の引き下げを。

A 準備基金を活用していくが保険料の引き下げは厳しい。県と連携しケアラー支援対策を計画に盛り込むべき。

①新しい行政事務の在り方について

Q タブレット導入などICTによる業務の効率化は。

A 紙ベースによる議会資料や各種資料の更なる削減により、ペーパーレス化が加速する。

②未来を担う子どもたちについて

Q 学校教育現場でSDGsについて学ぶ機会を。

A 現在はSDGsの17の目標を踏まえ、教職員が意図的に指導に当たり、児童生徒が具体的な行動につなげられるよう取組を推進していく。

③様々な地域課題について

Q 水谷東1丁目旧新河岸川の雨水幹線の整備を。

A 必要性は理解するが、予算面からも時間を要する。

①LINE等を活用した情報発信・相談の充実について

Q 一部の避難所に避難者が集中しないよう、避難所の混雑具合を発信・更新しては。

A ホームページ等をはじめとした各種媒体を通じて、随時発信を行っていききたい。

②子どもたちの心の健康を守る授業を確保できる体制づくりについて

Q オンライン相談で子育て支援の強化を。

A 研究していく。

③安全安心なまちづくりについて

Q 今回の補助の上限では費用負担が大きく設置が困難。防犯カメラ設置費補助の拡充を。

A 本市の補助は他市の行政水準と考える。

川畑 勝弘(日本共産党)



①シテイゾーン計画について

Q 地域住民は開発による水害への不安が大きい。さらばりと富士見建設後も周辺で水害が起きた。対策を改めて伺う。

A 埼玉県の基準以外にも公園や水路用地へ雨水貯留機能を持たせるよう要請していく。

①横断歩道での歩行者や自転車の保護対策の強化について

Q 歩行者優先の認識を高め一時停止率向上のため、横断歩道の電柱に停止を促すメッセージ等をつけることが有効と考えるが見解を伺う。

A 現地の状況を踏まえ、注意喚起看板の設置と併せ検討していく。

②子どもたちの心の健康を守る授業を確保できる体制づくりについて

Q スクール・カウンセラーを活用した授業はどうか。

A 相談状況や必要性を考慮しながら検討していく。

③安心安全なまちづくりを

Q 防犯カメラの設置に向けた補助申請が少ない状況である。抑止力を高めていく上でも丁寧な相談対応が必要では。

A 可能な限り設置に向けた協力をしていきたい。

①業務のデジタル化の推進

Q ビジネスチャットの導入により日常業務における効果も出ている事例も見られる。本市においても導入への検討が必要と考えるが、状況は。

A 現在、費用やセキュリティ等も含め研究を重ねている。

②窓口サービスのさらなる充実に向けて

Q 来庁時に申請書類を書かずに手続きが行える「書かない窓口」を導入している自治体もある。今後の窓口業務のあり方も含めた研究も必要と考えるが、見解は。

A 情報収集など事例研究に努めており、今後も利便性の向上に向けて取り組む。

③安心安全なまちづくりを

Q 防犯カメラの設置に向けた補助申請が少ない状況である。抑止力を高めていく上でも丁寧な相談対応が必要では。

A 可能な限り設置に向けた協力をしていきたい。



児童生徒に一人1台パソコン・タブレット導入

根岸 操 (市民の絆)



① 新型コロナウイルス関連対策について

Q 今後の感染防止対策は。
A 予防接種に対して自己負担の補助をしている。インフルエンザでは高齢者だけでなく生後6か月から中学3年までと、妊婦も対象としている。
Q 高齢者のPCR検査補助があるがいつ受けたらよいか。
A 高齢者や基礎疾患を持つ方が、不安を感じたときの受診を想定している。

加藤 清 (公明党)



① 市役所周辺の交通安全について

Q 市役所前の交差点の信号機に右折信号機の設置を。
A 警察と協議を行ったところ、交差点南側の右折帯の改良が行われたことから「右折信号機設置の検討は可能」との回答があった。今後、設置に向け詳細を協議していく。
② 市道第520号線(上南畑地域)の安全対策について
Q 今後の安全対策について
A 今後の土地利用の状況に合わせて、道路の修繕や改良、通過交通対策等実施していく。
③ 市内公共交通について
Q 寺下商店街に市内循環バスを。
A 今後の市内循環バスの運行については、富士見市地域公共交通会議で検証する。

深瀬 優子 (公明党)



① 文化芸術振興について

Q コロナ禍において、文化芸術振興に貢献する市民へ、文化振興基金を活用し、市独自の支援金を実施できないか。
A 様々な文化芸術活動に対する支援の可能性について検討を進めている。来年度予算での活用が開始できるようにさらに検討を進める。
Q キラリふじみのWi-Fi環境整備を強化する考えは。
A 総合的な施策が必要と考えており検討を進める。

小泉 陽 (保守クラブ)



① 家庭ごみ等について

Q 家庭ごみ等の収集体制は。
A ごみ収集状況は委託業者からの作業月報や状況聴取等により把握している。ごみ収集量増加は委託業者と連携し、市民生活に影響が出ないよう確実にごみ収集を行っていく。
② 市内公共交通について
Q 鶴瀬駅西通り線(市道第517号線)の安全対策は。
A 土地区画整理事業の完了に向けた、地区全体での交通規制等を警察と協議している。

上杉 考哉 (21未来クラブ)



① 公の施設の指定管理者の選定方法について

Q 針ヶ谷コミュニティセンターの指定管理の議案に対し、地域等から要望書や提言書が提出されたことは、選定審査に對し理解をして頂くことが不十分であったと思わざるを得ない。今後、更にこの審査委員会の重要性を再認識し取り組む必要があると思うが。
A 今後の指定管理の選定から、より徹底していきたい。

加賀 奈々恵 (草の根)



① 投票率の向上を

Q さらばーと富士見に期日前投票所を設置するべき。
A 費用とセキュリティの規程の問題があるので難しい。
Q 見積もりは取ったのか。
A 見積もりは取っていないが、業者と話しした限りでは140万円程度かかる。

村元 寛 (草の根)



① デジタル行政の推進を

Q デジタル化、オンライン化を進め市民の利便性向上を。
A 来年4月にICT推進課を設置し、全庁的に取り組む。
Q はんこ廃止などの手続の簡素化で業務への影響は。
A 業務の効率化により時間を有効利用することで、温もりが必要な方々に使いたい。

勝山 祥 (草の根)



① 認知症について

Q 本市の認知症対象者数は。
A 介護認定2a以上は252人。徘徊探知機貸与件数は23人である。
Q 行方不明になった件数は。
A 13件あった。
Q 認知症の方が起こした事故、損害を保証する個人賠償保険を取り入れてはどうか。
A 検討していきたい。

Q 市役所の臨時職員として緊急に雇用することについて。
A 支援が必要な方を含め、雇用機会の提供に努めたい。
② 交通・安全対策について
Q 鶴瀬小学校前交差点のスクランブル化を。
A 退避場所の安全対策を徹底していきたい。
Q 路面表示の劣化について
A 谷津幼稚園脇の県道鶴瀬停車場線交差点は現地を確認した。川越県土整備事務所に話す。

Q 今後の市内循環バスの運行については、富士見市地域公共交通会議で検証する。
Q 今後のオンデマンドバス導入の検討について。
A 富士見市地域公共交通会議で検討する。

Q 護岸が削り取られている状況への対応は。
A あすなる橋付近については今年度、応急的な修繕を実施。今後、補修工事に向けた設計、工事をしていきたい。

③ 産業政策による市内事業者への支援について
Q 追加支援の考えは。
A 新たな支援策の検討には事業者・消費者の皆様の声を聴くことが大切だと考える。

Q 市も地域の方もより良いまちづくりを想う気持ちは一緒であるのに、コミュニケーション不足などにより協力体制ができればいくら予算をかけて良い事業を構築しても地域活性には繋がらない。今からでも更に地域の声を聴く等、地域に寄り添って今後のまちづくりを推進して欲しい。
A 地域の皆様の視点、これまでの地域の歴史を大切に考え、取り組んでいきたい。

③ 入学準備金利子補給制度の拡充を
Q 貸付け上限の70万円を現状に合わせて拡充するべき。
A 上限額150万円に引き上げ、入学準備金だけではなく在宅資金も貸し付けるよう制度を変更予定である。

② ダイバーシティ(多様性)の更なる推進を
Q 富士見市の取組は。
A 率先してダイバーシティ社会の実現に向け取り組む。
③ ふるさと納税について
Q 法改正後の寄附状況は。
A 昨年度で増加傾向にある。

③ 図書館について
Q 図書館に宿泊して、一晩中読書が楽しめるイベントを開催してはどうか。
A 魅力的な取組だが、人員体制に課題がある。

今成 優太 (草の根)



① 保育士不足解消について

Q 全国には、保育士不足で閉園する園もある。本市は。
A 公立で一部受入れの制限がある保育所がある。私立の園はない。
Q 保育士資格はあるが、保育士として働いていない方も多くいる。市として、復職を支援していく取組はあるのか。

現在はない。
Q 県は保育士復帰支援や人材確保の支援を行い、保育士不足解消に取り組んでいる。本市もそこに登録しては。
A そのようにする。
② スポーツ行政について
Q 運動公園の定期整備は。
A 委託し、草刈りやトイレ清掃を行っている。
Q 定期整備が不十分である。他市町のようにスポーツ関連の専門業者に整備を委託し、グラウンドの質をあげるべきと考えるが。
A 検討、協議していく。

令和3年の定例会の開会日及び請願・陳情締切日のお知らせ

	3月 定例会	6月 定例会	9月 定例会	12月 定例会
開会日	2月9日 (火)	6月1日 (火)	8月31日 (火)	11月30日 (火)
請願・陳情の締切日	1月25日 (月)	5月17日 (月)	8月16日 (月)	11月15日 (月)

※定例会の開会時間は、午前9時30分からです。
※請願・陳情の締切時間は、締切日の正午までです。
※日程は予定ですので変更になる場合もあります。
事前に議会事務局にお問い合わせ下さい。

定例会・委員会の傍聴について

定例会本会議・委員会の傍聴は可能ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力自粛をお願いしております。

傍聴を希望される場合には、受付が必要となりますので当日に議会事務局へお越しください。

また、傍聴の際は、マスクの着用及び受付での検温にご協力をお願いいたします。

本会議については、インターネット中継及び録画の配信をしておりますので、下記の議会中継サイトもご利用ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 本会議終了後1週間程度で配信



または

富士見市議会 中継 検索

交差点の安全対策を



令和2年第4回(12月)定例会 審議結果

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
90	富士見市総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	105	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
94	富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	107	公の施設の指定管理者の指定について
99	令和2年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	109	公の施設の指定管理者の指定について
100	令和2年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第3号)	110	財産の取得について
101	令和2年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	111	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第10号)
103	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)		

○賛成 ×反対

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ			草の根		公明党		日本共産党		維新		保						
			佐野 正幸	吉原 孝好	上杉 孝哉	田中 栄志	尾崎 孝好	青藤 隆浩	関野 兼太郎	村元 寛	加賀 奈々恵	勝山 祥	今成 優太	津波 信子	深瀬 優子	加藤 清	篠田 剛	寺田 玲	小川 匠	川畑 勝弘
88	富士見市第6次基本構想及び富士見市第6次基本構想第1期基本計画を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
89	富士見市都市計画マスタープランを定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
91	富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
92	市長及び副市長の給与等に関する条例及び富士見市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
93	富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
95	富士見市行政組織条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
96	富士見市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
97	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
98	令和2年度富士見市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
102	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
104	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
106	令和2年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
108	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
陳情9	菅首相による日本学術会議会員の任命拒否を撤回し6名のすみやかな任命を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
陳情10	「富士見上南畑地区産業団地整備事業」等シティゾーンの開発に伴う治水対策について、しっかりと説明を全市民を対象に求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
陳情11	「日本学術会議の抜本的改革を求める意見書」の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
陳情12	市役所西出張所・サンライトホールの業務を駅周辺の場所で継続することを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
陳情13	水谷柳瀬川ゾーン開発に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
陳情14	百条委員会設置に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
議23	新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大を防止するための緊急対策を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
議24	後期高齢者の医療費窓口負担の引き上げに反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
議25	日本学術会議任命問題に関する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
議26	非正規労働者の不合理な待遇格差の是正を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
議27	「議案第108号公の施設の指定管理者の指定について」に対する附帯決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

※表中、会派の「維」は市民の維、「維」は日本維新の会、「保」は保守クラブを省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

議案審議報告

議案第88号
富士見市第6次基本構想及び富士見市第6次基本構想第1期基本計画を定めることについて (賛成多数可決)
令和3年4月を始期とする第6次基本構想及び基本構想を実現するための施策を定めた第1期基本計画を定めるものです。
なお、市議会としては当該計画の策定にあたり、議会の意見を反映させるため、全議員を委員とする「総合計画検討特別委員会」を設置し、昨年5月から計画内容を審査してまいりました。

議案第89号
富士見市都市計画マスタープランを定めることについて (賛成多数可決)
都市計画法第18条の2に基づき、令和3年4月を始期とする都市計画マスタープランを定めるものです。
○策定の視点
①社会状況の変化に対応
少子高齢化の進行、空き地、空家等の増加や大規模災害への備えを踏まえた方針づくりを進めた。
②近年の都市計画関連制度の動向
集約型都市構造の実現や都市農地の保全を踏まえた方針づくりを進めた。
③富士見市第6次基本構想との整合
第6次基本構想で定める理想の未来である「充実した日々」をまちづくりの理念として設定した。

議案第95号
富士見市行政組織条例の制定について (賛成多数可決)
第6次基本構想・第1期基本計画

陳情審査報告

本計画の推進、現状における課題への対応及び更なる市民サービスの向上を図るため、富士見市行政組織条例の全部を改正するものです。
《主な内容》
組織の構成について
・危機管理課の新設
・総合政策部を政策財務部に
変更
・自治振興部を協働推進部に
変更
・市民生活部を市民部に変更
・経済環境部の新設
・まちづくり推進部を都市整備部に変更
〔令和3年4月1日施行〕

議案第107号
公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)
○施設名称
富士見市民文化会館キラリふじみ
○指定管理者となる団体
公益財団法人キラリ財団

議案第108号
公の施設の指定管理者の指定について (賛成多数可決、可決後、附帯決議あり)
○施設名称
富士見市立針ヶ谷コミュニティセンター
○指定管理者となる団体
日本環境マネジメント株式会社

議案第109号
公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)
○施設名称
富士見市立放課後児童クラブ(11施設)
○指定管理者となる団体
社会福祉法人富士見市社会福祉事業団
(注) 指定の期間は3施設とも令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

陳情第9号
菅首相による日本学術会議会員の任命拒否を撤回し6名のすみやかな任命を求める意見書の提出を求める陳情 (不採択)
陳情者 戦争させない！オール富士見実行委員会 代表 小倉 洋一

陳情第11号
「日本学術会議の抜本的改革を求める意見書」の提出を求める陳情 (不採択)
陳情者 徳田 光男

陳情第12号
市役所西出張所・サンライトホールの業務を駅周辺の場所で継続することを求める陳情 (不採択)
陳情者 近藤 信子(外94人)

陳情第10号
《建設環境常任委員会》
「富士見上南畑地区産業団地整備事業」等シティゾーンの開発に伴う治水対策について、しっかりと説明を全市民を対象に求める陳情 (不採択)
陳情者 徳田 光男

陳情第13号
水谷柳瀬川ゾーン開発に関する陳情書 (採択)
陳情者 富士見橋通地区土地利用推進部 会長 高野 淳

陳情第14号
百条委員会設置に関する陳情 (不採択)
陳情者 村田 敏和(外4人)

決議

「議案第108号公の施設の指定管理者の指定について」に対する附帯決議
針ヶ谷コミュニティセンターは、市及び針ヶ谷地域の拠点施設の一つとして市民及び市政にとって重要な役割を担ってきた。
よって、利用者の満足度向上を目指し、これまで築きあげてきた指定管理者と地域住民との信頼関係を維持するとともに、引き続き地域住民及び利用者をはじめとする市民意見を指定管理者と協議しながら反映させていくこと。また、指定管理料に見合った管理運営をしていくことも求める。ここに、決議する。

富士見高等学校とのオンライン意見交換会を開催しました
市議会では議会基本条例に基づき、年に1回以上の市内関係団体との意見交換会を実施しています。
今年度は、コロナ禍での集まりを避けるかわりに、富士見高等学校生徒会の皆さんと、オンラインでの意見交換会を実施しました。
・実施日 10月9日(金)
・テーマ 「提案書に対する市の回答に基づく意見交換」

